

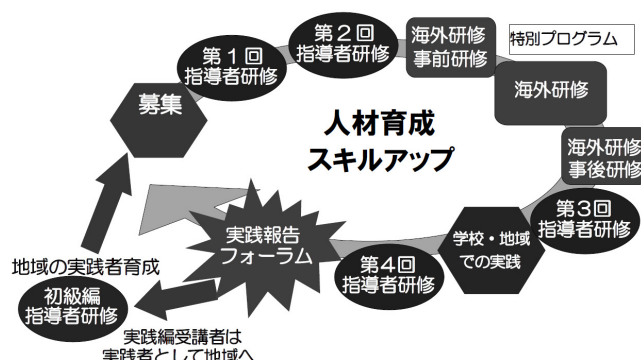
1. 教師海外研修の概要

● 目的とねらい

(1) 事業の目的・教師海外研修の目的

開発教育に熱心に取り組んでいる小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教師（以下「教師」という。）を対象に、指導者研修等の国内研修および JICA が支援している国への教師海外研修を有機的に組み合わせた上で実施し、各国の置かれている現状と日本との関係（国際協力を含む）への理解を深め、その成果を、次代を担う生徒の教育に役立ててもらふこと、また、研修参加後、JICA 国内機関と協力し、教育現場で開発教育を推進する中核となるような人材を育成することを本事業の目的としている。

この事業の目的を踏まえた教師海外研修の目的を次のとおり設定している。



海外研修のテーマを「持続可能な開発」とし、教師の皆さんが、ガーナ・ラオスの暮らしや社会、JICA の協力活動等の体感を通じて、人類の多様性、心の同一性、問題点、課題を解決するために必要なことなどを調べ考え、その経験を共通の教材にし、日本の児童・生徒への開発教育・国際理解教育に活かしてもらうことを目的とする。

ガーナ・ラオス現地研修の学びの視点

1. 訪問国に肯定的に出会う	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 世界の多様性を知り、多様な人やものと出会うこと・交流することの楽しさを伝える。 ◇ 多角的に肯定的に相手国と出会い、人の顔が見え、つながりを感じられるようになる。
2. 日本と訪問国とのつながりや同一性を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地球規模で進むグローバル化の恩恵と課題を理解し、日本とガーナ・ラオスとのつながりに気づき、つながりを築く。 ◇ 国や人の多様性だけではなく、共通するものがあること（同一性）を理解する。
3. 共に考え・共に越える共通の課題の解決をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 相手を知ることで自国（自分）をふりかえり、互いの誇りや課題を確認する。 ◇ 共に学びあい、知り、考え、気づき、よりよい未来を共に築く入り口を提供する。

(2) 開発教育指導者研修（実践編）全体のねらい

教師海外研修は、JICA 中部が行う開発教育支援事業のうち、下記内容の「開発教育指導者研修（実践編）」（以下「指導者研修」という。）の特別プログラムとして位置づけ、実施するものである。

教師海外研修受講者は、1泊2日全4回の指導者研修・実践報告フォーラムに参加し、ガーナやラオスで得たものを同研修にも還元し、相互に学び合うことをねらいとしている。

テーマ「ESD（持続可能な開発のための教育）とグローバル人材」

- 開発教育・国際理解教育の目的・内容・進め方と、ESDを始めとする他の教育との関連性を理解する。
- 「知り・考え・気づく」場の提供と、「自己肯定感」「コミュニケーション力」「参加・協力」の力を育てることを通して、人の行動変容を支える「参加型」についての理解を深め、習熟する。
- 人がよりよく学び、よりよく変わることに寄り添う「ファシリテーターの役割」とそのための手立てを確認し、習熟する
- 3回までに学んだことを基に、各自の現場で「開発教育／国際理解教育」プログラムを実践し、その成果と課題を第4回に持ち寄り共有し、よりよい質の教育（BQOE[※]）につなぐ。
- 1年間に及ぶ本研修の成果を、仲間と共に一般の人々に向けてフォーラムで発表することを通して、次なる担い手を増やし、「学びの好循環」を作る。

◇ 第1回：『開発教育・国際理解教育のめざすもの』 ※BQOE…Better Quality of Education

- ① 研修の全体像を理解し、各自の参加の目的をふりかえり、共に学び合う仲間同士知り合う。
- ② グローバル化した世界の現状と、当該教育の必要性を確認・共有する。
- ③ 当該教育が、価値観を育てる教育であること、行動変容を支える教育であること、そのための参加型の教育であることについての理解を深める。

◇ 第2回：『開発教育・国際理解教育にできること』

- ① 持続可能なよりよい未来につながるテーマを、自分事として考えるための学び方を学ぶ。
- ② 「関わる力」の育成に「参加型の学び」がどう役立つのか、体験的に確認する。
- ③ 「知り・考え・気づき・動く」をつなぐ学びの意義を理解し、自らの教育観をふりかえる。

◇ 第3回：『開発教育・国際理解教育のすすめかた』

- ① 多様な視点から考えること、気づきと築きを促すことに役立つ参加型手法について習熟する。
- ② アクティビティを活かした流れのあるプログラムを実際に作ってみる。
- ③ ファシリテーション実践を通して、参加型とファシリテーターのポイントを確認し持ち帰る。
- ④ 教師海外研修受講者の学びと気づきを共有し、ガーナとラオスに近づく。

◇ 第4回 『開発教育・国際理解教育をつなげよう』

- ① 第3回以降、研修での学びを基にした各自の実践を共有する。
- ② 1年間を通じた研修の成果を共にふりかえる。
- ③ 研修成果と実践を一般市民に向けて参加型で提供し、次へとつなぐ準備を行う。

◇ 開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム『ヒントが見つかる！仲間に出会える！』

- ① 【受講者】 実践報告、モデルプログラムのファシリテートと参加者との意見交換を通して、実践の自己確認、総括を行い、ネクストステップへの意欲を高める。
- ② 【参加者】 実践者の成果と課題を共有し、自らの実践のヒントとネットワークを得てもらう。
- ③ 【主催者】 国際理解教育・開発教育を推進し、研修事業の次の参加者を広げる。

● 募集と研修受講者

(1) 応募資格と参加条件

①～③を募集資格とし、④～⑪をすべて満たす者を参加資格とした。

- ① 応募および研修参加時点で愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の国公立、私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校の教員または教育委員会の指導主事等であること。
- ② 所属する学校の校長もしくは教頭（教育委員会であれば所属長）の推薦があること。
- ③ 原則、JICA が実施している教師海外研修、ボランティア、専門家、国際協力レポーター（ODA 民間モニター）等 JICA から海外に派遣された経験がないこと。
- ④ 教師海外研修の趣旨・目的を十分理解し、同研修の実施および以後 JICA が実施する開発教育支援事業に協力可能であること。
- ⑤ 授業やクラブ活動で開発教育を実践していること、また今後実践する予定にあること。
- ⑥ 国内で実施される研修・説明会および海外研修の全行程に参加可能であること。
- ⑦ 派遣国の事情（道路状況や衛生環境等）を勘案した上で、全研修行程に参加するに耐える健康状態であること。
- ⑧ 帰国後、所定の期日内に海外研修報告書を提出すること、また本研修の定めた期間内に所属校において授業実践を行い当該授業の実践報告書を提出すること、且つこれら提出物を報告書冊子や JICA ウェブサイトなどで一般公開されることに同意すること。
- ⑨ 本研修の事前および事後連絡における効率化のため、パソコンメールアドレスでの連絡が可能なこと。
- ⑩ 参加者メーリングリストでの情報共有に賛同いただけること。
- ⑪ ガーナ研修の受講者は、出発までに黄熱病ワクチンを接種可能であること。

(2) 選考

書類審査および面接審査を行い、最終選考の結果、受講者（ガーナ 10 名、ラオス 9 名）を決定した。

(3) 研修受講者

◇同行者を除く 19 名（ガーナ 10 名、ラオス 9 名）の属性

{	性別：女性 9 名、男性 10 名
{	年代：20 代 6 名、30 代 7 名、40 代 2 名、50 代 4 名
{	地域：愛知 10 名、岐阜 5 名、三重 2 名、静岡 2 名
{	校種：小学校 4 名、中学校 8 名、高等学校 5 名、特別支援学校 2 名

ガーナ派遣受講者および同行者

No.	名前	所属先	教科等	地域
1	天野 勝	四日市市立西陵中学校	英語 特別支援学級	三重
2	安藤 薫	多治見市立共栄小学校	家庭科 5年	岐阜
3	伊藤 佳貴	大同大学大同高等学校	英語 2年	愛知
4	岩花 亜紀	桑名市立光陵中学校	英語 3年	三重
5	河田 康皓	岐阜聖徳学園大学付属中学校	英語 1年	岐阜
6	河村 有紀	名古屋市立丸の内中学校	英語 1・3年	愛知
7	戸塚 康博	静岡県立島田高等学校	地歴公民 3年	静岡
8	永田 和久	大口町立大口西小学校	全教科 2年	愛知
9	服部 秀子	名古屋市立大杉小学校	全教科 2年	愛知
10	平林 悠基	中津川市立落合中学校	保健体育 1年	岐阜
11	古川 浩一	JICA中部 市民参加協力課	業務調整	愛知
12	久世 治靖	NIED・国際理解教育センター	ファシリテート	愛知

ラオス派遣受講者および同行者

No.	名前	所属先	教科等	地域
1	大前 奈津香	各務原市立各務原養護学校	音楽 高等部 2年	岐阜
2	榊原 麻起子	愛知県立常滑高等学校	英語 1年	愛知
3	須古井 京子	弥富市立弥富北中学校	保健体育 2年	愛知
4	鈴木 康弘	田原市立赤羽根中学校	社会 2, 3年	愛知
5	辻 真美	岐阜県立下呂特別支援学校	外国語 高等部 2年	岐阜
6	新倉 春美	名古屋市立名東高等学校	外国語(英語) 1年	愛知
7	林 雄一	愛知県立南陽高等学校	国語・書道 1・2年	愛知
8	松本 隆史	名古屋市立高針小学校	全教科 6年	愛知
9	矢部 航一郎	浜松市立細江中学校	数学 2・3年	静岡
10	酒井 智帆	JICA中部 市民参加協力課	業務調整	愛知
11	伴 和子	NIED・国際理解教育センター	ファシリテート	三重